

会議記録

会 議 名	令和6年度（2024年度）第1回八王子市博物館協議会
開 催 日 時	令和6年（2024年）5月28日（火）午後6時00分～午後7時55分
開 催 場 所	コニカミノルタサイエンスドーム（八王子市こども科学館）2階・講座室
出席者	委 員 大森映子、鎌倉佐保、菊池由紀子、國方則和、進藤哲央、馬場憲一、深澤靖幸、山中将一（敬称略・50音順、以下同） 事務局 叶清文化財課長兼郷土資料館長、飯塚由則こども科学館長、鈴木正生文化財課課長補佐兼主査、高野淳文化財課課長補佐兼主査、高山徹こども科学館主査
オブザーバー参加	八王子駅南口集いの拠点PFI事業者
欠 席 者	（委 員）大畑静佳、長田晶 （事務局）なし
議 題	（1）令和5年度（2023年度）八王子市こども科学館及び郷土資料館事業実施状況・施設評価について （2）その他
公開・非公開の別	公開
傍 聴 人 の 数	0名
配 付 資 料 等	1. 会議次第 2. 【資料1】令和5年度（2023年度）こども科学館事業実施状況 3. 【資料2】令和5年度（2023年度）こども科学館施設評価 4. 【資料3】令和5年度（2023年度）郷土資料館事業実施状況 5. 【資料4】令和5年度（2023年度）郷土資料館施設評価 6. 【資料5】八王子駅南口集いの拠点整備について 7. 【資料6】ハチオウジゾウ化石資料の寄贈について（別紙1、2） 8. その他（刊行物、チラシ類）

会 議 の 内 容 (要 点 記 録)	【開会】 (事務局職員による開会の宣言) 事務局 本日の会議には、歴史・郷土ミュージアムの開設に向けて、この博物館協議会がどのような開催状況で、どういった内容で運営されているのかといったことを情報として得た上で、将来的な運営に生かすことを目的に、関係事業者の方々がオブザーバーとして参加していただいておりますのでご了承ください。 事務局 また、この4月1日付で人事異動がございました。生涯学習スポーツ部長が前任の平塚に替わり平本が着任しておりますので、ここでごあいさつをさせていただきたいと思います。 (平本生涯学習スポーツ部長挨拶、中座) 事務局 会議の議長は、八王子市博物館協会条例第5条第1項の規定により会長と定められておりますので、以降は鎌倉会長に進行をお願いします。 鎌倉会長 本日の会議には10名の委員のうち、8名が出席しておりますので、八王子市博物館協議会条例第5条第2項の規定により会議は成立しております。 【議題】 1. 令和5年度(2023年度)八王子市こども科学館及び郷土資料館事業実施状況・施設評価について 鎌倉会長 まず議題(1)について、事務局から説明願います。 — 事務局職員による説明 — 鎌倉会長 ご質問をお願いします。 山中委員 先ほど高校生のボランティアが紙芝居しているというシーンがあったのですが、その高校生は、どういうきっかけでボランティアになったのかということと、活動を継続できるような見通しはどのようになっているのか。 事務局 この高校生は、もともと学芸員になりたいと先生に相談し、では、はちくでやってみたらという指導を受けて希望されたということです。郷土資料館では、ボランティアは随時受け入れているのですが、将来うちの学芸員になってもらえたらという思いで、優しく育てるような感じで対応しております。 昨年度は3名の方が新たにボランティアに加わり、将来
----------------------------------	--

	魅力的な施設ができますので、今後ボランティアをどのように増やしていくか、事業者側と検討を進めていきます。
山中委員	そういう世代の貴重な人材を、単発ではなく逃さないで継続的に博物館に関わってもらえるようになるといいと思いました。
鎌倉会長	はちがくが商業施設にあるということも、少しプラスに働いているのでしょうか。ちょっとのぞいたりすることができますので、そういう点でもすごくいい方向に向かっていていると思います。
馬場委員	郷土資料館の資料3の7ページ、東京ろう重複者とあゆむ会というのはろうの方々ということですか。
事務局	この時の対応の詳細はわかりかねますが、ろうと他の身体障害もあわせてお持ちの方々ということです。
馬場委員	同じく文化庁視察とは、何ために来たのですか。
事務局	東京にある日本遺産をピーアールする施設で、魅力向上のための様々な取組をしているという点でお越しになりました。今後、文化庁の新人研修でも利用しようかという話もありました。
馬場委員	こども科学館の資料2の教育普及事業について、この評価で達成度が1となっていますが、その原因としてはバスの予算が削減された以外にもあるのでしょうか。
事務局	コロナ前は、小学校4年生はほぼ全校、6年生が7割ぐらい、中学3年生が3割ぐらいの学校分の予算は確保していたのですが、コロナで見学自体がなくなり予算が全てカットされました。それを令和4年度から復活したときに、財政が厳しいということもあって、4年生分は確保できたのですが、6年生と中学3年生の分は確保できなかったというのが実状です。
馬場委員	現在はどうなのですか。
事務局	同じく4年生分のみです。
馬場委員	では、入館状況はコロナ前より悪化しているのか。
事務局	この目標値が、平成30年、令和元年、まだバスの予算が小学校6年生と中学3年生分もあるときと令和4年度を平均したものを指標としていますので、それと比べると、どうしても昨年度、小学校4年生分しか予算が取れていなかったもので、人数も少ない、評価も悪いという結果になってしまっています。
馬場委員	つまり、館側の責めによらない事由で評価が低いのはおかしいのではないか、評価の基準は考えた方が良いのではと感じました。

事務局	今回の数値的評価においては、コロナ禍の令和2・3年度を除いた3か年平均値としていますので、別の要素も加わっての評価1ということになっています。
山中委員	学習指導要領では、今までは基本の時数を学校の裁量で増やすこともできましたが、最近は逆に上限が決められている。コロナが終わっていろいろな体験をさせたいが、制度的な上限によって学校はやりづらくなっている。また、いわゆるバスの2024問題で移動教室のバス料金が倍にもなっているなど、社会状況や学校の事情で変わってきているので、単純な比較で評価の達成というのは難しい状況にあると思います。
鎌倉会長	館側の努力だけでは難しいですが、そういう状況にどう対応していくかを考えなければいけないということですね。
山中委員	説明にあった出前授業のように、学校側がお金を使わなくて済むのであれば、学校としてもウェルカムです。先生側も思い至らないことも多いので、博物館側から出前授業をアピールしてもらえると活用が進むと思います。
事務局	東京都が令和4年度から子どもを笑顔にするプロジェクトという事業をやっており、本市では、その都予算を活用して八王子版の笑顔プロジェクトとして日本遺産を活用した取組を行っています。各学校、例えば高尾山薬王院で精進料理を食べたり、僧侶の方が学校に出向いて薬王院の歴史を話したり、あるいは八王子芸妓衆の方々も学校に行ったりなど、様々なメニューを組んでいます。そのような形で体験活動ができるフォローができている部分もあるかと思います。また、八王子車人形の方々には令和5年度に34校も訪問していただき、普段できないことを学校に出向いてもらって行っています。
大森委員	歴史相談について、248件あるうち、はちあくで直接相談を受けることが減ったということでしょうか。
事務局	上野町にあった頃は毎日のように来られる方が多かったのですが、はちあくになって、コロナ禍前から戻っていない印象です。
事務局	はちあくには書籍類がありません。教育センター内の郷土資料館事務室には資料類も多く、そちらでじっくり調べ物をする方が多いと感じます。
大森委員	この件数には、ネットからの分なども含まれているのでしょうか。
事務局	ネットからの相談件数も含んでいます。

	大森委員 高齢者の方の話が多いですが、歴史相談は若い方からも受けているのでしょうか。 事務局 大学でこのようなことを調べているが八王子ではどうなのですか、といった相談内容は、ネット経由で多く見受けられます。 大森委員 辞書代わりのようですね。やはりきっかけとしてネットは大きく、先ほどの高校生が関心を持たれたという件も含め、ネットの比重は今後より増えていくと思います。以前の会議でも話が出ましたが、展示のバックグラウンドを見せることで、若い方が関心を持つことにつながると思います。非常に貴重な人材となりますので、そういう対応も進めていてもらいたいと感じます。 國方副会長 こども科学館の施設評価、人材育成にある宇宙教育者指導セミナーとありますが、正しくは宇宙教育指導者セミナーでは。また、今回はKU-MAさんとの連携でセミナーをやっているようですが、この目的と、こういった方々が対象で、どのような内容をやったのかを教えてください。 事務局 事実上KU-MAさんの主導で全国各所で実施されているセミナーを地域ごとに開催したいということで、関東エリアの場所の提供としてお話がありました。実際に今回のセミナーにも、私どもの科学指導員2名が参加しており、将来的には先ほどご紹介したコズミックカレッジ等を自主的にやってもらえるようにというような趣旨で参加してもらったのですが、KU-MAさんがどこまでの意図をお持ちになってこちらで開催したというところまでは、正直つかみかねているところです。 國方副会長 こども科学館からというよりも、KU-MAさんがやりたい、場所を貸してねと、そのようなニュアンスですね。宇宙教育の指導ができる人たちを育てようという取り組みなので、そういった方々が活動できる場をつくってあげるのも必要だと思います。ただ、日本宇宙少年団やJAXA宇宙教育センターもそれぞれセミナーをやっていますが、項目がちょっとずつ違うので、思惑に合ったものやられたほうがいい。KU-MAさんがどういう目的でやられているのかつかみきれないけれど、参加された方に意義があり、それだけで終わらないようなところも含めて考えていただければいいかなと思います。 もう一点、郷土資料館の施設評価、桑都ツアーズの評価が1という説明の中で、去年は桑都ツアーズをやったので
--	---

	この数字で、今年はやらなかった。ではなぜ今年は桑都ツアーをやらなかったのか。去年どういう目的でやったのか、また数値目標として桑都ツアーがどういう位置付けだったかによって、前年度の実績を目標値に設定したことが妥当だったのかどうか気になったところです。
事務局	桑都ツアーは、はちがくが起点で八王子城跡の現地に行き行って調べることで、お互いの施設を行き来する方を増やしたいという目的がありました。そういった意味では、親子で参加されたり、両方を行き来してくださったので、非常に大きかったと思っております。ですが、同じ企画を毎年繰り返すというよりも、やはり違うものもやっていきたいという思いもあり、令和5年度は実施しませんでした。今後も趣向を変えた企画を実施したいと考えており、楽しみにしていただければと思います。
國方副会長	私も桑都ツアーに参加してみて楽しかったので、今後もしやってほしいと思いつつ、この目標値の設定というのが、機械的に前年度の実績を設定してしまっているのが、毎年やらないという前提があるのだったら、この数値設定はまずいのではないかと。そこはやはりその年度がどういうことを目指しているのかで設定されたほうがいいかと思いました。
馬場委員	こども科学館の施設評価で、基本目標の策定と公開のところに事業運営計画と書いてあります。この会議でも以前、策定を1年延期したという報告がありましたが、この事業運営計画は誰が作るのですか。
事務局	こども科学館職員が策定します。
馬場委員	こども科学館は生涯学習施設であり、教育を念頭に事業が行われると思います。郷土資料館の資料4では、基本目標の設定と公開というところの最初に挙がっているのが八王子市教育振興基本計画です。しかし現在のこの八王子市教育振興基本計画の中に、科学教育が入っていない気がするのです。やはりこれは基本目標だから、市の施策の一番トップにあるものだと思うが、その中に書いていないとまずいと感じます。事業運営計画は館独自で職員が策定する、そうすると、市全体の中での位置付けが十分できていないような印象を持ちました。これは、今答えていただかなくても結構で、また次の機会にそうしたことを教えていただきたい。
事務局	この事業運営計画は、こども科学館の職員だけで勝手に決めたわけではなく、教育委員会定例会等でオーソライズ

	されたものです。市の大本には八王子未来デザイン 2040 という計画があり、また経営計画というものもあって、その他にも教育委員会の計画、生涯学習スポーツ部の計画があって、市の上位計画から下位計画に至るまで、それらに基づいて作っているものです。この説明の書き方ですと、こども科学館だけで作った事業運営計画という疑問を持たれてしまったのかもしれませんが。
馬場委員	こども科学館で策定はするが、様々な計画をもとにしたもので教育委員会で管理しているということか。
事務局	こども科学館の事業運営計画は、上位計画の範囲内で具体的な事業を決めているものですので、上位計画から外れるところはないですし、上位計画というのはあまり具体的には書かれてはいないので、それを具体化させて何をやっていくのか、というのが事業運営計画です。
事務局	本市の最上位の計画は、先ほど話が合った未来デザイン 2040 です。これは国でいうと憲法と同じようなもので、そこでは理念が述べられているわけです。それを実施するための様々な計画が分野ごとにあって、それを下支えするいわゆるアクションプランのようなものがその下位にぶら下がるような形で、全体を生かしながら、ピラミッドのように構成されています。
鎌倉会長	先ほど講座で南大沢のほうに行ったという内容がありましたが、やはりどうしても路線が分かれてしまっているの、あちらのほうに住んでいる方はこちらに来づらい。今回あまり人が集まらなかったということですが、南大沢辺りでも催しをやっていただくと、また来てみようかという人も増えてくるのではないかと思いますので、ぜひ継続していただけたらと思います。 また、盲学校の見学については詳しく教えていただいて本当にありがとうございました。これまでもやっていらっしやったことだと思いますけれども、ああいう形で、ちょうどプロジェクションマッピングの模型がうまく活用できるというのは、すごく良かったなと思いますし、学芸員の皆さんがそれぞれ工夫されて対応されているのがよく分かりました。
馬場委員	先ほどのスライドで、織物の糸の重しに市史の本を使っていたようですが、ちょっと気になりました。
鎌倉会長	それでは、この議題についてはよろしいですか。
2. その他	

	鎌倉会長 議題（２）その他について、事務局からお願いします。 ・こども科学館のあり方検討に対する協力をお願い ・八王子駅南口集いの拠点整備について ・ハチオウジゾウ化石資料の寄贈について — 事務局職員による説明 — 鎌倉会長 確認したい点やご質問はありますか。 進藤委員 ハチオウジゾウの化石の寄贈の受け入れ先がこども科学館ではなくて郷土資料館なのは、展示場所の関係によるものなのですか。 事務局 これは寄贈者のたつての希望で、温湿度管理がしっかりした歴史・郷土ミュージアムでの保存がふさわしいという考えをお持ちでしたので、郷土資料館で受けることになりました。 深澤委員 今後の活用を考えると、この後、講座もやられるということなので本来はこども科学館のほうがいいかなと思います。ただ、寄贈者の意向ということで、難しい選択だったのかなと思いますが、新しい施設でも、扱いがちょっと難しい。専門の学芸員がいらっしゃるわけではないと思いますし、今後ご苦労されるのでは。 事務局 おっしゃるとおり、自然分野の学芸員がいない中で、どうやってこれをしっかり活用していくのかという不安がありますし、両館が同じようなものを持っているのであれば、お互いに相乗効果を期待して一緒に企画をやっていく。これの続きはこちらで見られますとか、その逆もあると思いますし、そのような企画で活用面はカバーしていきたいと思います。 深澤委員 歴史・郷土ミュージアムには収蔵展示室というところがありますけれど、こちらには具体的にどのような資料を入れることを想定されているのでしょうか。 事務局 考古資料と、民俗資料を入れる予定です。 事務局 この収蔵展示室はエントランスホールから入った角を含めてガラスになっていまして、力織機という背の高い織機を置いて、それを動かしている様が見られるといったことを考えております。 深澤委員 収蔵展示室という形態で、現実的にどれだけ収蔵スペースが確保できるのか不安は感じますがけれど、致し方ないから、頑張って1,000平米かせいだということなのだろうと思います。収蔵展示室と銘打った場合は、将来的にも活用
--	---

	できるような努力が必要だと思います。 事務局 収蔵展示室は、構造的には小上がりで中2階みたいな感じのところで、今、収蔵面積も確保しつつ展示もやっていけるという工夫を設計で頑張ってもらっています。 馬場委員 ハチオウジゾウはどの展示室に入るのですか。 事務局 現在、常設展示室1の中にコーナーを設けることを考えていますが、ゾウだけではなく、あくまでも通史で、通史の前の自然、その自然は、当然ながら地学上のいろいろな要素があってできているという説明をする中で、違和感なくそこに溶け込めるように配置したいと考えています。 馬場委員 化石はどのように見せるのですか。 事務局 全身骨格は見つかっていませんので、牙や歯といったパーツを使って、どのくらいの高さかを表現するということは、展示設計の腕の見せどころだと思っています。 國方副会長 化石の話は郷土資料館で全然違和感はなかったです。なぜかという、歴史の中での出来事であるわけで、そこはある意味自然なのかなと思っています。科学館が生物などに特化しているという切り口で見れば、確かに違和感があるけれども、大きな流れの中では全然違和感はなく、むしろそうあるべきではないか。科学館と歴史博物館とがどうコラボしていくのかというきっかけの一つになるのであれば、そこで一緒に八王子の歴史や自然、そういったものも含めて知ってもらうという流れになるといいと思っています。 鎌倉会長 ありがとうございます。 他にご発言がなければ、皆さまにお知らせがございます。令和3年から委員をお務めいただいた山中委員が、本日の会議をもって退任されます。これまでいろいろと貴重なご意見を頂きまして、ありがとうございました。山中委員から一言お願いいたします。 山中委員 私は小学校の副校長という立場ですが、副校長会の中でいろいろな役割があって、その中の一つに博物館協議会有り、普通の副校長先生たちは、何だ、この協議会は、みたいな。私は大学で歴史を専攻して、博物館学芸員の資格もありすごく興味があって、お役に立つのであればということで3年間お世話になりました。子どもたち、そして一般の人が関わらない部分で、これだけ大勢の方、ここにいらっしゃる方もそうなのですが、そういう方の支えで成り立っていると改めて感じました。委員としては今日までですが、学校を通じて、また博物館と関わっていけたら
--	---

	と思います。3年間どうもありがとうございました。 鎌倉会長 山中委員、ありがとうございました。 鎌倉会長 それでは、最後に次回の開催予定について、事務局から お願いします。 事務局 次回開催は、11月上旬を予定しております。8月末頃を 目途に日程調整をお願いいたします。 鎌倉会長 以上で令和6年度第1回八王子市博物館協議会を終了い たします。長時間にわたりお疲れさまでした。 【閉会】
--	--